

令和3年度 第3回向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和3年11月11日(木) 午前10時～午後0時15分
場 所	向日市役所別館 第10会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、植田委員、安田委員、横田委員、中本委員、清水委員、永田委員、實川委員
欠席委員	河村委員、吉岡委員、梅田委員
事 務 局	日下部生涯学習課長、河合、(研修)玉城副部長
内 容	1 人権研修会(8/4)の報告及び実施(12/23)について 2 令和3年度京都府社会教育研究大会(11/2)について 3 その他事項
委員長	【開会】 ○挨拶
事務局	○議題1 人権研修会(8/4)の報告及び実施(12/23)について —報告— —参加した感想・意見の交流—
委員	研修の印象としては同和問題という難しい問題をわかりやすく、身近な問題ととらえてお話して下さった。なぜ同和問題を学ばなければいけないのかという問題の質が変わってきている今日、改めて同和問題学習の必要性を明確に言って下さったことが、すごく嬉しかった。 年齢が60代後半70代、更に上の年齢の人でもそうだと思うが、寝た子を起こすなという議論や価値観がまだある。わざわざ差別があることを学習することで、差別が生まれるのではないかという議論や意見がまだ今でも身近にあると感じていたところ、なぜ学習しなければいけないかを明確に言って下さったのが良かった。 先ほど事務局からの報告の中で、参加者の感想に、自分の行動を振り返るとか、難しい問題ではなく、よりよく生きるために考えないといけないなどの意見があった。自分の行動を振り返る。そういった考えが参加者の感想として出てきたことは、有意義だったと思う。
委員	まず、このテーマ、この講師で、人権研修を開くと聞き、昨年と一緒の講師ではないか、安易ではないかということをお大分言わせていただいた経緯がある。講師も

事務局	<p>同じ市で2年続きなので、何をどう話したらいいか、おそらく相当迷われたと思う。 引き出しの多い方だから社会問題として、私たちがどう生きるべきかというところにも焦点を当てつつ、前回はどちらかと言えば学校教育の話が多かったのに対して、今回は私たちの生き方としてという部分で、焦点がかなり当たっていた。結果的にはよかったと思う。とても分かりやすいお話で、どうも同和問題となると眉間に皺を寄せて聞くような話が、多いという印象があるが、その印象を見事にひっくり返してくれるような、本当に良い研修だったと思う。</p> <p>○議題2 令和3年度京都府社会教育研究大会（11/2）について</p> <p style="text-align: center;">—報告—</p> <p style="text-align: center;">—参加した感想・意見の交流—</p>
事務局	<p>○その他事項（今後の予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度近畿地区社会教育研究大会 大阪大会について ・第3回会議内容及び日程調整について <p>○研修 令和3年度文化資料館国際シンポジウム関連特別展 「寿岳文章 人と仕事」—向日庵と和紙の旅—について 向日市文化資料館 館長 玉城 玲子</p> <p>【閉会】</p>